

支店だより

News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。



皆さん よろしくお願いいたします

紀の里地域本部では4月1日、合併後初となる令和7年度新規採用職員の入組式を紀の里ふるさとセンターで行いました。本年度は、新規採用職員6名の新しい仲間が増えました。

中山地域本部長から激励の言葉と共に、一人ひとりに辞令が手渡され、新入職員からは「和歌山県農業協同組合の職員として、働かせて頂くことに誇りと自信をもち、皆様の



期待に応えていきたいと思います」と力強い決意表明がありました。



桃山
支店

大健闘!ももりんピック!

3月4日、かがやき部会の活動の一環のもと、桃山会館の体育館で毎年恒例のももりんピックが開催されました。競技内容はボール投げ、空き缶タワー積み、画用紙を桃に見立て、ちぎった長さを競う「桃の皮むき」、じゃんけん大会の4種目です。半日を通して協力し、競技を楽しんでくださったのはもちろんのこと、地区が違い、普段は関りがない方との交流を楽しんでいただいているのが目に見えました。これからも組合員同士、また、職員も含めた交流の場となれるような桃山支店であり続けます。



打田
支店

CS改善活動!!

打田支店では渉外と窓口それぞれで、組合員・利用者さんの満足度向上を目指して月に2回ほど集まってミーティングを行っています。渉外部門では昨年度、ベストアイデア賞を頂きました。

今年度も、より組合員・利用者さんに満足していただける支店を目指して活動していきます。





粉河
支店

3-8月期 肥料・農薬の予約引取

2月末から川原地区を皮切りに、竜門、長田、粉河の各地区で農薬・肥料の一括引取を行いました。

東営農経済センターでは、毎日たくさんの組合員さんが肥料・農薬の月別引取にご来店いただいています。

今回は約800名の皆様に予約をいただき、「毎回、営農指導員さんと相談しながら予約書を書くのを楽しみにしている」との声もいただきました。

県1JA合併後も各地区での予約一括引取りや配達・引取も変わらず行っていくしますので、今後とも予約購買をぜひご利用ください。



那賀
支店

大將軍神社春まつり開催

4月6日に那賀支店管内の名手上地区にて大將軍神社春まつりが開催されました。「名手上町内会」の大植晴之区長と「名手上の将来を考える会」の小西廣治代表が共同で企画をし、満開の桜の下で農産物の販売や名手上地区で捕獲した猪のジビエソーセージの販売、大正琴の演奏、餅まき、夜には桜のライトアップが行われました。まつりには名手上地区の以外の方も参加しており、その中で堺から立ち寄った方は「将来ここで田舎暮らしをしたい」と言っていました。今後も地域活性化に繋がる情報を積極的に発信していきます。



貴志川
支店

水稻肥料の一括引き取り

貴志川支店では4月5日に水稻肥料の一括引き取りを実施しました。

一括引き取りは配送合理化によるメリットから普段より安く肥料を購入できるため、多くの組合員さんに利用していただいています。当日は朝早くから約70名の組合員さんが予約分の肥料1,500袋を引き取りにこられました。

肥料の予約では、一括引き取りで予約注文していたくと通常の予約価格よりもさらに安く購入することが出来ます。一括引き取りを利用されていない方は、ぜひ次の予約での申し込みを検討してみてください。



岩出
支店

さくら祭りの開催

4月5日、6日の2日間、道の駅にある「根来さくらの里」において「さくら祭り」が開催されました。

当日は多くのお客様にご来場いただき、マグロ解体ショー、ガラガラ抽選会などを楽しんでいただきました。

これからも皆様のご来店をお待ちしています。



2025.5

最新の農作業情報は
ホームページからご覧になれます

【組合員様専用ページを見るには】

インターネットで以下のアドレスを入力
<https://members.ja-kinosato.or.jp/>

または

JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ

右図と同じユーザー名とパスワードを入力して
ログインしてください。

組合員様専用ページ

aguri

kinosato11

ログイン情報をお知らせ

ログイン

水 稲

育苗期での極端な高温、低温、厚播きにより
枯れ細菌病や褐条病が発生しやすいので、次
の要領を守ってください。

● 播種の準備

種籾の量は10a当たり4kgが目安です。播種
後の育苗日数は、20〜25日程度です。

● 種子消毒

種子消毒は初播き日の約7
日前に行いますが、水温により
発芽の程度が進み過ぎると初
播き作業の妨げとなるので注
意しましょう。表1の薬液に24
時間浸漬し、消毒後は水洗いせ
ず真水に浸け替えましょう。

● 浸種

表1. 水稻（種子消毒）

薬剤名	倍 数
スミチオン乳剤	1000倍
テクリードCフロアブル	200倍

種子消毒後の種籾を約5日間真水につけ発
芽を促し、鳩胸状態で播種してください。
浸種する水温が低すぎると発芽ムラを起こし
やすくなるので、10℃以上を確保しましょう。
キヌヒカリ、きぬむすめの発芽は早い為、注意
してください。

● 育苗箱の準備

10a当たり20〜24枚の育苗箱の枚数が標準
です。培土1袋で育苗箱約5〜6枚分です。

● 播種前のかん水

播種前に床土に粒状を潰さないよう優しく、
十分かん水を行ってください。

● 播種

初播の播種量は、1箱当たり乾籾で約180g（1合
8尺）です。播種後はならしかん水を行い、覆土を
します。覆土後はかん水は不要です。覆土後のか
ん水により、発芽が悪くなる場合があります。

● 出芽

5〜7日間程度度光を遮り、黒マルチ保温資
材などを被覆し、新鞘を2〜3cm伸ばします。

● 緑化・硬化処理

急に強い光を当てると白化等の障害が発生す
るので、被覆資材の除去は夕方行いかん水をし
ます。その後2日間は寒冷紗で日除けしてくださ
い。かん水は適宜行い、苗を生育させましょう。

● 綿葉枯病対策

綿葉枯病の病原ウィルスは、ヒメトビウンカ越冬
幼虫に体内で抑年まで引き継がれ媒介されます。
育苗場所は雑草地付近を避け、育苗期の発生時
はトレボン乳剤1000倍で防除を徹底してください。

● 田植え時薬剤処理

スクラム箱粒剤（50g／1箱）を移植3日前
〜田植え当日までに苗箱に散布してください。
トビイロウンカ（坪枯れ）対策のひとつとなつて
います。
散布後、軽く払ってかん水し、薬剤を土の表
面に落ち着かせましょう。

● 除草剤

・田植え後
表2の2剤のいずれかを田植え後それぞれの登録内容を確認の上、早め（雑草
発生前）に散布してください。
※2剤とも移植直後から使
用できます。散布後4〜5日かけて土表
面に処理層を形成するため6
日間は冠水状態（水深3〜5
cm程度）を保つように心掛けて
ください。特にジャンボ剤使用
の場合、浅水による葉害の懸
念があるので注意しましょう。
処理後、減水するようなら静
かに水を入れてください。

● ジャンボタニシ対策

代かきを均一に行い、田
植え後1週間は4cm以下の浅水管理にし、食害
被害を抑えます。薬剤はジャンボタニシくん1〜2kg／10a
（殺菌）を移植後の被害が出る前に散布して
ください。

● 土壌改良剤（10a当たり）

農力アップ……………100kg
水稻はケイ酸を窒素の10倍以上吸収しま
す。良質な米づくりに土づくり資材の施用は欠
かせません。

● 元肥（10a当たり）

・普通栽培
燐加安44号……………40kg
・省力栽培早生品種
（キヌヒカリ・コシヒカリ・にじのきらめき）
らくだ君200早生用……………45kg
又は
エムコート489早生用……………45kg
・省力栽培中晩生品種
（日本晴・きぬむすめ・ヒノヒカリ・にこまる）
らくだ君200中晩生用……………45kg
又は
エムコート489中晩生用……………45kg※省力栽培（一発肥）は早くても田植え後7日前
以降（〜田植え時）に施用してください。

表2. 水稻（除草）

薬剤名	倍 数	使用時期 / 使用回数
エンペラー1キロ粒剤	1kg/10a	移植直後〜収穫60日前まで/1回
エンペラージャンボ	10個(250g)/10a	移植直後〜移植後30日前まで/1回

野 菜

※前作物（野菜など）により肥料の残存が予想さ
れる場合は通常の元肥より減量しましょう。

玉 葱

5月中旬から下旬にかけてターザン・さつ
き・ターボなどの中生種の収穫となります。収穫時期は倒伏の約1週間後です。茎葉が
しかりして吊るすことができる状態の時
に収穫してください。

えんどう、一寸そら豆

収穫は天気の良い早朝に行うようにし、日中
の高温期の収穫は莢の鮮度が落ちると共に、雑
に扱うとキズ莢になる原因となるので、注意し
てください。えんどうは、高温により枯れ上がり早く
なります。えんどうも一寸そら豆も収穫前か
ら給水量が最大となります。この時期は乾燥
しやすい為、かん水に留意しましょう。

ジャガイモ

ジャガイモも5月半ばから収穫時期に入りま
す。収穫は茎葉が黄色くなった頃を目安とし、土
が乾燥した状態で、皮むけや傷をつけないよう
気をつけて行ってください。収穫したジャガイモ
は日陰で乾かしておき、暗くて（凍結しない程度
に）涼しい場所で貯蔵しておいてください。とき
どき点検し、腐敗イモを取り除いてください。

果菜類（ナス・トマト・ピーマン・キュウリ）

定植後初期管理として、畝が乾燥すると根張
りや果実の肥大が悪くなるのでたっぷりかん水
してください。わき芽は小さいときが取りやすい
ので、根元から丁寧に指先で取ってください。また風に揺すられると、初期の根張りが悪
くなるため、仮支柱への固定など風対策を行
いましょう。

高温時に農薬散布すると葉害が発生しやすくなります。薬剤散布は晴天日の早朝に行ってください。

特にアブラムシ、アザミウマ類の発生が多くなるので適期防除に努めましょう。

青ネギ

気温の上昇に伴い徐々に病害虫の発生が増えてきます。特にアザミウマ類に注意してください。

防除

表3を参考に散布してください。

表3. 青ネギの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数	使用時期/使用回数
アザミウマ類	ハチハチ乳剤	1000倍	7日前/2回
	アグリメック	500~1000倍	3日前/3回
	ディアナ SC	2500~5000倍	前日/2回
	ファインセーフフロアブル	1000~2000倍	3日前/2回
べと病	ピシロックフロアブル	1000倍	前日/3回
	シグナム WDG	1500倍	7日前/3回
	オロンディスウルトラ SC	2000倍	7日前/2回
	フォリオゴールド	800~1000倍	14日前/3回
さび病、黒斑病	オンリーワンフロアブル	1000倍	14日前/3回
	ジマンダイセン水和剤	600倍	14日前/3回

柑橘

5月は開花から新梢の緑化期となります。樹によつては開花時期や着花(果量)にバラツキがあると思われまので、それぞれの樹にあった管理を実施してください。

●着花量の多い樹(表年の樹)
花が多すぎると、多くの養分が開花時に消

費するので、新梢の成長が妨げられ樹勢低下を起こします。また、次年度の不作も確定してしまいます。対策としては、「枝別全摘蕾」や、摘果剤(ターム水溶剤・フィガロン乳剤)の散布を行います。

・枝別全摘蕾

新梢が少なく、ベタ花の樹で枝の直径が5~6cm程度の枝単位で、蕾(花)を全部かいてしまう方法です。

・摘果剤による摘果

全摘果：満開10~20日後に、ハーベストオイル200倍にターム水溶剤500~1000倍(一/一回)またはフィガロン乳剤1000倍(一/一回)を加用して散布してください。

間引摘果：満開20~50日後に、ターム水溶剤1000~1500倍(一/一回)またはフィガロン乳剤2000倍(一/一回)を散布してください。

なお、最高気温25度以上の日を選んで散布してください。

●着花量の少ない樹(裏年の樹)

着花量の少ない樹は、新梢量が多くなるため生理落果する可能性が高いです。そのため、被さり枝の除去、芽かき、摘芯などに努め、養分の競合を防ぎ着果量を確保することが大切です。

●開花期防除

栽培する柑橘の種類により防除適期が異なりますので、注意が必要です。みかんは、中玉生産を目標とするので、満開前~満開時が防除適期となります。また、中晩柑類は大玉生産を目標とするので、有葉花の開花に合わせ、開花終期が防除適期となります。防除薬剤については表1を参考にしてください。

●接木後の管理

発芽後はミカンハモクリガ(エカキムシ)・アブラムシの防除を行ってください。薬剤は、モスピラン顆粒水溶剤400倍(14日/3回)や、ダントツ水溶剤400倍(1日/3回)などで防除してください。

●施肥

花肥、夏肥の施肥時期となります。この時期の施肥は樹勢の強化、果実肥大の促進、新梢の

生育促進の役割があります。特に中晩柑類は夏場に多くの養分が必要となるので、表2の施肥例を参考にしてください。

●梅

●収穫

農作業が最も多忙な時期になってきます。高所での作業時など安全面に十分に注意して作業を行ってください。

●仕上げ摘果
満開後40~50日頃、果実が親指程度の大きさになった頃から行い最終袋掛けの量まで摘果します。残す果実は縫合線を挟んで左右の比率が6:4の果実が正常果で、5:5は双胚果です。基本的に枝の中央部を残しますが、果実の着果位置から先に新梢が発生していない果実や、発生している新梢が弱く既に伸長がとまっている部位の果実は、摘果時に大きくてもその後の肥大が鈍く、小玉果になるので果実周辺の新梢の伸びの良い果実を中心に残しましょう。また、核割れしやすい品種では枝の中央部よりやや基部にならずようにします。摘果する果実は、小玉果や片肉果・病害虫被害果などを見ながら摘果しましょう。摘果した後の着果配分の目安は、樹冠上部を1:10・目通りを1:10・樹冠下部を9:0%とします。硬核期までに極端な摘果を行うと核割れを助長させるので数回に分けて摘果を行うのが良いでしょう。

●桃

●仕上げ摘果

●袋かけ
袋かけの時期は満開後50~60日頃から行います。樹全体の着果配分は、日当たりの良い上部を多めに着果させ、日当たりの悪い樹冠内部や下枝の果実は少なめに着果させましょう。

表1	防除時期	対象病害虫	薬剤名	倍 数	収穫前使用日数／回数
みかん 中晩柑	5月中旬 (開花期)	コアオハナムグリ・アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	3000倍	14日／3回
		そうか病・灰色かび病・黒点病	ナディーボフロアブル	1500倍	前日／3回
		カイガラムシ発生園では、モベントフロアブル2000倍(7日／3回)を加用する			
	6月上旬	アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル	3000倍	14日／3回
ゴマダラカミキリ幼虫		エムダィファー水和剤	600倍	みかん60日／2回	
黒点病		ハーベストオイル	200倍	中晩柑90日／2回	
レモン	5月 (開花期)	ミカンハダニ	ハーベストオイル	200倍	夏期(6月～7月中旬)／－
		チャノホコリダニ	ハチハチフロアブル	2000倍	前日／2回
		アブラムシ類・黒点病	ジマンダイセン水和剤 (又はペンコゼブ水和剤)	600倍	90日／4回
	6月上旬	コナカイガラムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	前日／3回
チャノキイロアザミウマ		ダントロンフロアブル	2000倍	前日／2回	
ミカンハダニ		カスミンボルドー	1000倍	45日／5回	
		かいよう病	クレフノン	200倍	－／－

表2	不知火・清見・はるみ	八朔・レモン
5月上旬(花肥)	紀の里2号配合…80kg	－
6月上旬(夏肥)	紀の里2号配合…80kg	紀の里2号配合…120kg

落葉果樹

●ゴマダラカミキリムシ対策

ゴマダラカミキリムシ(天牛)が今月下旬から発生し始めます。対策としては、成虫を見つけた第捕殺するとともに、発生初期にバイオリサ・カミキリを1樹あたり1本処理するのも効果的です。取り付け位置は、産卵場所である地際(地上部10~25cmを目途)に近い主幹の分岐部等です。

作目別防除・施肥例

品 目	時 期	対象病害虫	薬剤名	倍 数	収穫前使用 日数/回数
梅	5月中下旬 (南高のみ)	(展着剤) ケムシ類・コスカシバ 黒星病・すす斑病	ネオエスチリン フェニックスフロアブル ナティールフロアブル	5000倍 4000倍 2000倍	—/— 前日/2回 前日/2回
	収穫前 (木熟南高)	(展着剤) すす斑病	ネオエスチリン スニア顆粒水和剤	5000倍 3000倍	—/— 前日/3回
すもも	6月上旬 (早生収穫前)	カメムシ類 シンクイムシ類 灰星病	スターグル顆粒水溶剤 ロブール水和剤	2000倍 1500倍	前日/3回 前日/3回
	5月中旬 (袋かけ前)	シンクイムシ類 モモハモグリガ せん孔細菌病 果実赤点病・黒星病	サムコルフフロアブル10 マイコシールド ジマンダイセン水和剤 (又はペンコゼブ水和剤)	5000倍 1500倍 600倍	前日/2回 21日/5回 21日/3回
桃	5月下旬	シンクイムシ類 果実赤点病・黒星病・灰星病	スターグル顆粒水溶剤 ダコレート水和剤	2000倍 1000倍	前日/3回 3日/3回
	早生収穫前	シンクイムシ類 ホモジシス腐敗病・灰星病	ロディー乳剤 ベルコート水和剤	1000倍 2000倍	前日/5回 前日/3回
柿	開花初期 (5月上旬)	ハダニ類 カキクダアザミウマ チャノキアザミウマ 落葉病・炭疽病	ダニニグフロアブル オルトラン水和剤 ジマンダイセン水和剤 (又はペンコゼブ水和剤)	4000倍 1500倍 600倍	前日/1回 45日/2回 45日/2回
	5月下旬 (6月上旬)	うどんこ病・落葉病 炭疽病・灰色かび病 アザミウマ類 カンザワハダニ	オンリーワンフロアブル コテツフロアブル	2000倍 2000倍	前日/3回 14日/2回
いちじく	5月下旬	(展着剤) アザミウマ類 さび病・そうか病	ネオエスチリン オルトラン水和剤 トリフミン水和剤	5000倍 2000倍 2000倍	—/— 45日/1回 前日/3回
	6月上旬	(展着剤) 疫病 アザミウマ類	スカッシュ ダコニール1000 モスピラン顆粒水溶剤	2000倍 2000倍 2000倍	—/— 前日/2回 前日/3回
キウイ フルーツ	6月上旬	追肥:有機ユートップ668を10aあたりに40kgを目安に施用する			
	落弁期	クワシロカイガラムシ キウイヒメヨコバイ 灰色かび病	モスピラン顆粒水溶剤 ストロビドフロアブル	2000倍 2000倍	7日/3回 前日/3回
ぶどう 大粒露地	6月上旬	キイロマイコガ 果実軟腐病	フェニックスフロアブル アリエッティ水和剤	4000倍 600倍	7日/3回 120日/2回
	6月上旬	夏肥:紀の里2号配合を10aあたりに60kgを目安に施用する			
ぶどう 大粒露地	5月中下旬 (開花直前)	チャノキアザミウマ フタタヒメヨコバイ 黒とう病・晩腐病・ べと病・灰色かび病	コテツフロアブル ジマンダイセン水和剤 ロブール水和剤	4000倍 1000倍 1000倍	60日/2回 45日/2回 前日/3回
	6月上旬 (落花直後)	カイガラムシ類 チャノキアザミウマ 灰色かび病 黒とう病・晩腐病・べと病	コルト顆粒水和剤 ファンタジスタ顆粒水和剤 ベトファイター顆粒水和剤	3000倍 3000倍 2000倍	前日/3回 14日/3回 30日/3回
梨	5月下旬 (果実指大)	シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ 黒星病・輪紋病	インダーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤 ベルコート水和剤	5000倍 3000倍 1000倍	7日/3回 前日/3回 14日/5回
	6月上旬	シンクイムシ類 黒斑病・黒星病・輪紋病	サムコルフフロアブル10 ナリアWDG	5000倍 2000倍	前日/3回 前日/3回

柿

●摘蕾

大玉果生産に摘蕾は欠かせない作業です。摘蕾をしなければ果実の初期肥大が悪くなり、その後の肥大に影響しますので摘蕾作業は早期に実施しましょう。また、奇形果や小玉果、遅れ花などは再度見直し、見つけ次第除去してください。

●人工授粉

富有柿では人工授粉の時期となります。花粉1に対して石松子10の割合で混合して授粉してください。

キウイフルーツ

キウイフルーツは初期の果実肥大率が大きいので、出来るだけ早い時期から花数を制限し、果実肥大を促しましょう。

●摘蕾

摘蕾の方法は、まず側蕾を落とし、その後、結果枝の基部の変形した蕾や先端の小さい蕾を落とします。

●人工授粉

結実を安定させるために必須の作業です。なお、気温の低い時(15℃以下)は授粉効率が悪くなるので、授粉を控えましょう。

①液体授粉

花みらい1ℓに対し、精製花粉2g以上を入れてよく混ぜ、ハンドスプレー等で行います。また、花粉を混合した液体は2時間以内に使い切るようにしましょう。

②パウダー式授粉

花粉1に対して石松子10の割合で混合し、授粉してください。

●摘果

摘果は授粉後2週間目から行い、小玉果、授粉不良果、奇形果、扁平果を中心に摘果し、1㎡あたり25〜30果残すようにしましょう。

いちじく

●芽かき

養分の競合を抑え、新梢の生育を促進させるため、芽かきを行います。実施時期は新梢が3〜

4枚展葉する頃になります。一文字整枝の場合、結果枝の間隔を片側40cm程度になるように残しましょう。3年目以上の成木であれば、樹勢を見て2〜3回に分けて行ってください。基本的には上芽や副芽を取り、必要でない限りは不定芽と陰芽も除去します。また、樹勢の強、樹では横又は下部からの発生している芽を残し、樹勢の弱い樹については上部から発生している芽を残し、樹勢が中庸に揃うよう調節して最終は一本になるようにしましょう。

ブドウ大粒(露地)

●房切り

巨峰の有核栽培では、開花7日前から開花にかけて副穂と房先を除去し約7〜8cm(12〜13段)残します。巨峰・ピオーネの有核栽培では、開花7日前から第1回ジベレリン処理までに房先3.5cm程度残して他は除去します。副穂等を残してジベレリン処理の目印にするのも良いでしょう。

●ジベレリン処理

第1回目の処理は、無種子化を目的に行います。巨峰・ピオーネの房作りをした花穂が、房尻まで花が咲ききった時期を中心に行います。満開時〜満開3日後、花穂の生育にバラツキがあるため、生育に合わせて2〜3回に分けて処理を行ってください。早すぎると房先が曲がったりします。第2回目の処理は、果粒肥大促進を目的に行います。満開後10〜15日で、処理が早いと果粒肥大が劣り、処理が遅れると着色や果粉のノリが悪くなるので注意しましょう。

花

今後の気温の上昇に伴い、灰色かび病・べと病などの病気やアブラムシ・ハモグリバエ・アザミウマ類・ハダニ類などの害虫の発生も懸念されます。定期的な防除を行ないましょう。展着剤としてスカッシュ1000倍又はドライバー2000倍を加用しましょう。

しゃくやく

収穫後半、第一回目の夏肥として、紀の里5号

表2. ペニバナの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数
ハモグリバエ	プレバノンフロアブル5	2000倍
	ディアナSC	2500〜5000倍
	ハチハチフロアブル	1000倍
アブラムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍
灰色かび病	ゲッター水和剤	1500倍
	パレード20フロアブル	4000倍
	ファンタジスタ顆粒水和剤	3000倍

表3. ヒマワリの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数
アブラムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍
斑点病	ジマンダイセン水和剤	600倍
べと病	リドミルゴールドMZ	1000倍
	ベトファイター顆粒水和剤	2000倍

●病害虫防除

表3を参考に散布してください。

ヒマワリ

生育に応じてフラワーネットを上げてください。露地栽培では倒伏しやすいので、支柱をしっかりと立てましょう。

●病害虫防除

表1. しゃくやくの防除例

病害虫名	薬剤名	倍 数
コウモリガ	フェニックスフロアブル	2000倍
ネコブセンチュウ	ネマトリンエース粒剤	20kg/10a
班葉病、うどんこ病	コサイド3000	1000倍
	Zボルドー	600倍

*コサイド3000、Zボルドーは、散布後の降雨により薬害が出やすいので注意してください。

●病害虫防除

表1を参考に散布してください。収穫後のボルドーは必ず散布しましょう。

ペニバナ

気温が上昇するにつれ、ハモグリバエの発生が多くなります。卵から幼虫になるまでの日数は、気温20℃のとき約30日、気温25℃のとき約20日です。短期間で被害が広がるので、発生初期の防除に心掛けてください。発生が顕著になった場合は5日間隔程度で繰り返し防除を行います。

●病害虫防除

表2を参考に散布してください。



金融

JAこども共済
資料請求キャンペーン実施中!!

お子様の学資金づくりに。「高い貯蓄性+万一の備え」で効率的に資金準備できます。

今なら資料をご請求頂いた方に、オリジナルマルチポーチをプレゼント!

お問合せは窓口または渉外担当者まで。



購買

令和7年度 県産果汁
愛飲運動がスタートしました!!

本年より熟選工房(みかんストレートジュース)の瓶900ml×6本入り販売が復活しています。美味しい和歌山の果実の入ったジュースを飲んで、帰省されるご家族やこれからの夏に備えてください。

注文は、外務デー担当にお声掛け、または最寄りの支店・営農経済センター・事業所まで、よろしくお願いいたします。

販売

紀の里果樹リレー開始

5月になり、令和7年産果樹の出荷リレーが開始される時期となりました。

紀の里地域本部管内の農産物も本格的に出荷される前段階となり、それに先駆けて、管内では紀州うすいやそら豆、ハウス栽培のきゅうりやなすも引き続き出荷されています。

また5月下旬より、和歌山県特産の梅、小梅の出荷が始まり、周年供給産地、紀の里農産物リレーが今年度も開始されます。

本年も引き続き、信頼のブランド紀の里をPRしつつ、販売に努めていきます。

営農

水田の代かき、田植え等でお困りではありませんか?
水田作業を受託します

水田の耕起・代かき・田植え等の作業でお困りではありませんか?

紀の里地域本部では、農家の皆様の農作業支援として、水田作業受託者会を組織し、水田作業の一部を請け負っています。

各営農経済センター又は営農センター 営農支援課(0736-77-0810)まで遠慮なくお問い合わせください。お申し込みの際は、営農・購買窓口を設置の申込書に必要事項を記入してください。

水田作業受託標準料金表(税込)

作業名	標準料金(10a当り)	備 考
耕起(1回)	14,000円	
代 か き	14,000円	
田 植 え	14,000円	苗は現場置き。隅の手植えはしない。
刈 り 取 り	33,000円	隅刈りは原則委託者が事前に行う。稲藁はカットする。
乾 燥	15,000円	10a未満でも10a分とする。乾燥のみの受託は行っていません。
粃 摺 り	玄米1袋(30kg) 500円	